

市民自治めざし3つの選挙

春の統一自治体選挙を迎える明石は、市長、市議、県議のトリプル選挙の年です。

4年前は4月の統一選挙を前に泉市長の職員への暴言が報道され、市長が辞職した繰り上げ選挙で劇的な3選を遂げた後、1か月後の再選挙では無投票当選になりました。以来、同市長の言動は全国から注目されてきましたが、今回の選挙を前に再び市議への暴言騒ぎの末「任期満了で退任、政治家も引退」する表明になり、またまた注目されています。

加えてこの2年間、市長と市議会の対立が極限に達する中で、今春の選挙では引退する市長が後継市長を擁立するとともに、市議会の“反市長派”を半数以下にするために自派市議候補を大量に擁立する宣言をして、成否が注目されています。これまでは市長選の陰に隠れて目立たなかった市議選がクローズアップされます。

「市民マニフェスト選挙」で両選挙に照準

市民自治あかしは12年前の市長選から「市民がつくる市民の政策」である市民マニフェストを提案し、候補者との公開討論会を開いてきました。今春も4回目の市民マニフェストを作成し、公開討論会を開催します。前回から市議選でも候補者による公開討論会を開いてきましたが、今年も3月に市議、市長選の候補者公開討論会を相次いで開催します。

また、これに先立って1月28日(土)には、現職議員らを招き「市議会はどうあるべきか？」をテーマに「市民と議員の討論集会」を開催します。

第1幕

議会改革めぐり市民と議員の討論集会

1月28日(土)13:30～ 市民会館 第1・2会議室 だれでも参加できます

「市民のための開かれた議会の実現」を議会基本条例の冒頭に掲げた明石市議会は、いま何が問題なのか？ 現職議員と新たに市議をめざす立候補予定者も招き、市民と議員が意見交換します。当日会場にお越しください。

第2幕

市民マニフェスト策定 市民集会

市民マニフェスト原案は1月末に発表し、2月に市内3ヵ所で3回討論集会を開催します。

第3幕

市議選 立候補予定者による公開討論会

3月19日(日)19:00～21:00 市民会館中ホール

第4幕

市長選 立候補予定者による公開討論会

3月26日(日)19:00～21:00 市民会館中ホール

この春明石が冴える

市政と選挙に主権者市民の目線

4 回目迎える「市民マニフェスト」選挙

政策提言～検証評価 まで 4 つのステップ

市民自治あかしが「市民マニフェスト選挙」を始めたのは 2011 年の市長選から。前年 2010 年 4 月に「市民自治のまちづくりと市政」を掲げた自治基本条例を明石市が施行してから最初の市長選挙を迎えました。「自治を担う主体」である市民が自ら求める政策を作成し、候補者に提案して意見交換するステップを「候補者公開討論会」を開催して具体化しました。

多くの選挙は主権者市民というものの、候補者や政党が打ち出す一方的な“選挙公約”を聴いて投票先を選ぶという受け身の選挙になっています。市民が提案する政策に候補者がどう答えるか



2022 年 11 月 20 日開催した市民マニフェスト検証大会で答える泉市長

を聴いて判断する機会を創り出す。選挙後も日常的に姿勢をチェックして参画し、次の選挙までの中間点では政策の進行度合いを市民が検証評価して市長と意見交換する。①政策提言 ②公開討論会 ③日常参画 ④検証評価という 4 つのステップを繰り返すのが「市民マニフェスト選挙」です。

市民マニフェストは 市民がつくる市民の政策

市民マニフェストには、以下の 3 つの目的があります。

- 第 1 は、明石市が置かれている厳しい市政の課題に対して、主権者である市民自らが政策を考え提起する、自治基本条例に基づく市民の責任を果たすための、市民が政策を考える市民自治の実践です。
- 第 2 は、市政と議会の改革を進めていくことを行政まかせにせず、市民参画の機会を大事にする。
- 第 3 は、住民自治をめざす自治体では、市民が選挙に一層主体的に関わる必要があります。候補者を選ぶ基準を、市民自らが掲げて候補者に選択を迫ることから、市民自治の社会が始まります。

市政運営の基本姿勢を重視し、政策集も 80 項目から 17 項目に圧縮

2019 年版市民マニフェストの主な概要

- ・自治基本条例の遵守と説明責任の履行
- ・魅力ある明石をめざした明石らしいまちづくり
- ・支え合いの地域福祉と当事者の意見反映
- ・人口減少と少子高齢社会に対応した政策転換
- ・環境保全と持続可能な社会へ向けた政策転換
- ・市制百年、築城 400 年事業を後世に残るものへ

2011、2015 年版の「市民マニフェスト」は「自治・参画の基本に関わる姿勢」と「個別具体的な政策に関わる項目」が、延べ 80 項目近くのにのぼる大部な政策集になりました。実際の討論会では 10 数項目を抜粋して意見交換していましたが、2019 年版は基本姿勢や個別政策を 7 分野 17 項目に圧縮

して、全てを討論の俎上に載せるようにまとめました。

また、当初は検証評価の結果を 5 点満点に数値化して発表する「市民の通信簿」的な性格が強かったですが、数値化するには無理があるとして点数評価はやめ、具体的な問題点を列挙する方式に改めるなど進化しています。

新版は 2 月に連続市民集会開き討議

2023 年版市民マニフェストは 1 月末に原案をまとめて発表し、2 月に市内 3 カ所連続市民集会を開いて討論の俎上に上げたうえで最終版を決定します。日程は 1 月末までに発表します。